

## 資料配布の場所

1. 国土交通記者会
  2. 国土交通省建設専門紙記者会
  3. 国土交通省交通運輸記者会
  4. 筑波研究学園都市記者会
- 平成21年10月7日同時配布

平成21年10月7日

国土交通省

国土技術政策総合研究所

## 共同研究者の募集について

国土交通省国土技術政策総合研究所では、産学官の連携を図り、効率的な技術開発を実施するため、共同研究を推進しております。この度、下記の課題について共同研究者を募集いたします。

## ① DSRC 通信を利用した車利用型 EMV 決済に関する共同研究

国土技術政策総合研究所では、ITS 技術を活用した次世代道路サービスの研究を行っています。次世代道路サービスの1つとして検討しており、駐車場やドライブスルーにおけるキャッシュレス決済への利用が想定される「車利用型 EMV 決済サービス」につきましては、サービスの有効性が確認された段階であり、今後、標準仕様の策定に向けた検討を行うこととしています。

本共同研究では、この「車利用型 EMV 決済サービス」について、各種装置の開発及び標準仕様の策定に向けたとりまとめを行うものです。

詳細については、別添資料をご参照ください。

募集期間は、平成21年10月7日から11月6日までの約1ヶ月間となっています。

詳細につきましては、下記 URL にも掲載されておりますのでご参照ください。

国土技術政策総合研究所ホームページ <http://www.nilim.go.jp/lab/bbg/kyoudou/index.htm>

## 問い合わせ先

## (共同研究の手続きに関する問い合わせ先)

国土交通省国土技術政策総合研究所 企画部企画課 湯原 麻子

TEL 029-864-4086 / FAX 029-864-1527

E-mail [kyoudoukenkyu@nilim.go.jp](mailto:kyoudoukenkyu@nilim.go.jp)

## (共同研究の研究内容に関する問い合わせ先)

国土交通省国土技術政策総合研究所

高度情報化研究センター 高度道路交通システム研究室 室長 畠中 秀人、主任研究官 鹿野島 秀行

TEL 029-864-4496 / FAX 029-864-0565

E-mail [its-keiyaku@nilim.go.jp](mailto:its-keiyaku@nilim.go.jp)

# ITSの新展開

別添資料

- これまで高速道路における道路交通情報提供を中心に展開してきたサービスにとどまらず、駐車場料金決済やドライブスルーショッピング、ガソリンスタンド料金決済など、民間サービスへも展開
- 今回の共同研究は民間分野利用の拡大への第一歩となるもの

民間分野においてITS車載器を利用した各種サービスが拡大  
(マルチアプリなど高機能を可能とするオープンプラットフォームを活用)



駐車場やドライブスルーにおけるキャッシュレス決済



観光情報・地域情報の配信



物流車両の管理

今回の官民共同研究において対象とするサービス

これまで検討されてきたサービス  
高速道路上を中心にサービス、ITS車載器の普及開始



広域な道路交通情報提供

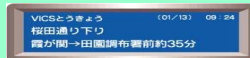


安全運転支援情報提供



アウトレット施設などでの広告配信

現行VICSサービス



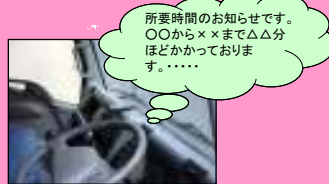
文字表示型



簡易図形表示型



地図表示型



わかりやすい音声による  
道路交通情報提供

施設入出門管理

各種顧客管理

# 共同研究の公募内容

## 共同研究の名称

DSRC 通信を利用した車利用型 EMV 決済に関する共同研究

## 担当研究室

高度情報化研究センター 高度道路交通システム研究室 (電話 029-864-4496)

## 実施期間

平成 21 年度～平成 22 年度 (1.5 年間)

## 共同研究の背景及び目的

国土技術政策総合研究所では、2005 年 2 月から 2006 年 3 月までの約 1 年間、官民共同研究「次世代道路サービス提供システムに関する共同研究」を実施した。この中で、次世代道路サービスを構成する 3 つのサービスである「(1) 道路上における情報提供サービス」、「(2) 道の駅等情報接続サービス」、「(3) 公共駐車場決済サービス」のそれぞれのサービスを実現するためのシステムの概要、システムの概略構成について検討を行っている。その後の研究により、(1)、(2)については、サービスの有効性確認、普及展開へ向けた標準仕様の策定が概ね完了している。一方、(3)については、サービスの有効性が確認された段階であり、今後、標準仕様の策定に向けた検討を行うこととしている。

本共同研究では、この「公共駐車場決済サービス」を発展させた「車利用型 EMV 決済サービス」について、各種装置の開発及び標準仕様の策定に向けたとりまとめを行うものである。

## 研究目標

1. EMV 決済装置の開発
2. EMV 対応路側機の開発
3. EMV 対応管制機の開発
4. EMV 対応 ITS 車載器の開発
5. 各種装置の相互接続試験
6. とりまとめ

## 共同研究の内容及び研究分担

研究の分担				
研究項目	研究細目	研究分担		備考
		国総研	共同研究者	
1.EMV決済装置の開発	EMV決済アプリケーションの開発		◎	
	EMVカーネルの開発		◎	
	ドライバ開発		◎	
	決済サーバの開発		◎	
2.EMV対応路側機の開発	EMV決済対応路側機の開発	◎		
3.EMV対応管制機の開発	EMV対応管制機の開発		◎	
4.EMV対応車載器の開発	EMV対応車載器の開発		◎	
5.各種装置の相互接続試験	相互接続性試験	◎	○	
6.とりまとめ	とりまとめ	◎	○	

## 共同研究者に対する条件、募集する共同研究者数等

### 1. 共同研究者（公募）に対する条件

以下のいずれかの実績を有すること。

#### (1) EMV 決済装置の開発

既往の EMV 決済システム（有人端末における EMV 決済装置を含む）の開発実績を有すること

#### (2) EMV 対応管制機の開発

既往の駐車場管制機の開発実績を有すること

#### (3) EMV 対応 ITS 車載器の開発

JEITA（電子情報技術産業協会）仕様の ITS 車載器の開発実績、若しくは市販の ETC 車載器の開発実績を有すること

### 2. 参加者数

参加者数については上限を設けないものの、上記公募条件で審査し、適宜ヒアリングを実施する。なお、参加者は単独企業でも複数の企業等で構成されるグループでの応募も可。

### 3. その他

共同研究の内容及び研究分担に応じて、共同研究者としての研究費用は負担していただきます。詳細は以下までお問い合わせ下さい。

問 い 合 わ せ 先

高度情報化研究センター 高度道路交通システム研究室

室長 畠中 秀人、主任研究官 鹿野島 秀行

電話 029-864-4496／FAX 029-864-0565

E-mail [its-keiyaku@nilim.go.jp](mailto:its-keiyaku@nilim.go.jp)